



®環境省

エコアクション21
認証番号 0007585

環境経営レポート

(期間 2024年3月～2025年2月)

2025年 5月 31日発行



株式会社 新名工務店

目 次

1	環境経営方針	…… P 2
2	事業所の概要	…… P 3
3	環境経営システム組織図	…… P 4
4	環境経営目標	…… P 5
5	環境経営目標の実績	…… P 6
6	主要な環境経営計画の内容	…… P 7
7	環境経営計画の取組結果とその評価	…… P 8
8	活動の記録	…… P 9
9	次年度の取組	…… P 12
10	環境関連法規制等の遵守状況	…… P 13
11	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	…… P 14

1. 環境経営方針

私たち株式会社新名工務店は、建設業という事業活動を通して社会への貢献をするという理念に基づいた経営を行います。その一方で事業活動が環境へ重大な影響を与えるということ認識しながら、継続可能な経済社会を形成することが不可欠であると考えます。そのため環境の保全と改善に向けての取り組みを積極的・継続的に行い社会への責任と役割を果たしてまいります。

【行動指針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 事業活動で発生するエネルギーの使用量削減により、二酸化炭素排出量を減らします。
 - ② 廃棄物の排出量の削減に努めます。
 - ③ 水使用量の削減に努めます。
 - ④ 省エネ建築の提案をいたします。
2. 環境関連法規制等や当社が約束したことを遵守いたします。
3. 本方針を全社員に周知徹底し、環境経営レポートを通じて社外へも情報公開いたします。
4. 本方針について目標・計画を設定し、定期的に見直し、環境経営の継続的改善に努めます。
5. 本方針に基づきSDGsとの関連を明確にし、社会問題の解決に貢献いたします。

制定日 2010年 8月 20日
改訂日 2023年 5月 31日

株式会社 新名工務店

代表取締役 新名 孝司

2. 事業所の概要

① 事業者名及び代表者名

株式会社 新名工務店
代表取締役 新名 孝司

② 所在地

本 社 : 香川県高松市西春日町1130番地
廃棄物置場 : 香川県高松市西春日町1098番地8

③ 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 営業部社員
連絡担当者 : 営業部社員 TEL : 087-867-1344 FAX : 087-867-1338

④ 事業内容

建築工事業、土木工事業

⑤ 許可関係

(1) 建設業許可

建築工事業 香川県知事許可(特-2)第1375号

土木工事業 香川県知事許可(般-2)第1375号

大工、とび・土工、解体、内装仕上工事業
香川県知事許可(特-7)第1375号

(2) 一級建築士事務所登録

香川県知事登録 第534号

(3) 宅地建物取引業免許

香川県知事(10) 第2576号

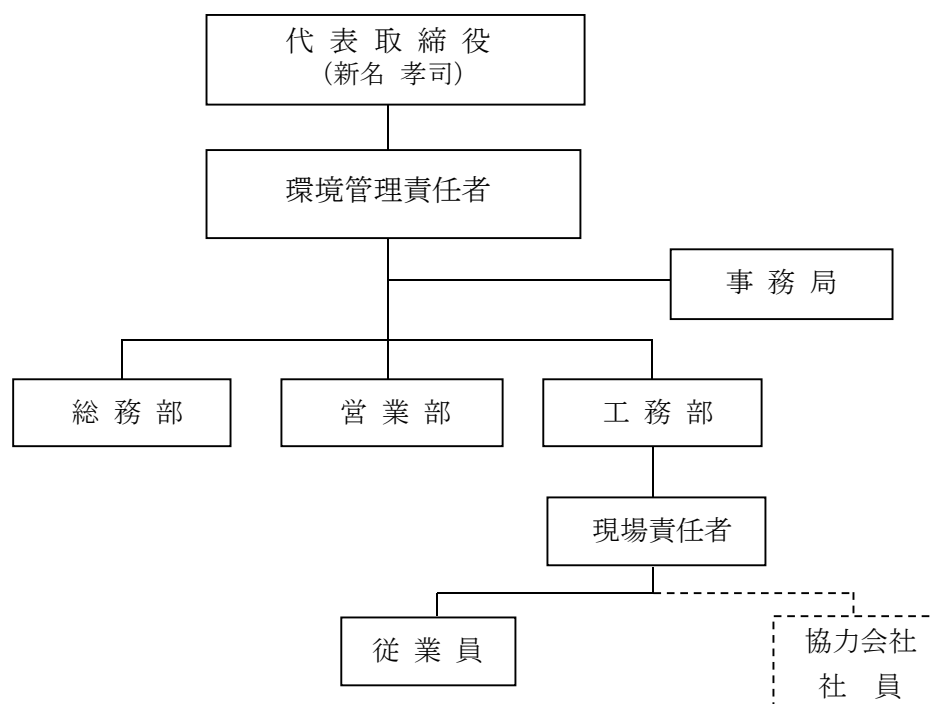
⑥ 事業の規模

完成工事高 : 5億3,308万円/年 (2024年度) ※税込
従業員数 : 25名 (男性21名 女性4名)
本社事務所床面積 : 406.00㎡
倉庫作業場床面積 : 252.20㎡
廃棄物置場面積 : 166.00㎡

⑦ 対象組織

全組織・全活動 (株式会社新名工務店 本社、廃棄物置場)

3. 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技術者等を用意 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 特定された緊急事態への対応のための手順書の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項一覧表を承認 環境経営目標・環境経営計画の作成 環境経営計画の取組結果を代表者へ報告 特定された緊急事態への対応のための手順書の作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 法規制等の要求事項一覧表を作成 環境経営計画の実績集計
現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> 現場における環境経営システムの実施 現場における環境経営方針の周知 現場の従業員に対する教育訓練の実施 現場に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 現場の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営への活動に参加

4. 環境経営目標

中長期計画(2023年3月～2026年2月)

- ・過去3期分(2020・2021・2022年度)の平均値を基準値として、2025年度までに3%削減を目標とする。
- ・現場の電力使用量については、2021年度の数値が例外的であったため除外し2期分の平均を目標とする。
- ・ガソリンと軽油の使用量の目標を別々に設定する。
- ・ガス使用量については過去3期が下がりきって横ばいだったため現状維持を目標とする。
- ・電力のCO2排出量については、2023.1.24発表の電気事業者別調整後排出係数をもとに算出した
 事務所…CO2調整後排出係数 **0.424** [kg-CO2/kWh] リエスパワーネクスト
 現場…CO2調整後排出係数 **0.569** [kg-CO2/kWh] 四国電力
- ・産業廃棄物については、削減目標としてリサイクル率を加える。
- ・売上高の原単位については今回から算出せず、総量を目標とする。
 (売上計上のタイミングと実際に取り組む時期とのズレがあり、原単位での評価が難しいと判断した)

			過去3期の平均 2020～2022年度 (2020/3～2023/2) 基準値	目 標		
				2023年度 (2023/3～2024/2) 1%削減	2024年度 (2024/3～2025/2) 2%削減	2025年度 (2025/3～2026/2) 3%削減
CO2 排出量 の 削減	CO2排出量 (kg-CO2)	全社	53,465	52,930	52,935	51,861
		事務所	11,579	11,463	11,347	11,232
		現場	41,886	41,467	41,048	40,629
	電力使用量 (kWh)	事務所	10,260	10,157	10,055	9,952
		現場	13,318	13,185	13,052	12,918
	ガソリン (L)	事務所	2,557	2,531	2,505	2,480
		現場	7,192	7,120	7,048	6,976
	軽油 (L)	現場	4,093	4,052	4,011	3,971
灯油 (L)	全社	838	830	821	813	
LPガス(kg)	事務所	17.80	17.80	17.80	17.80	
廃棄物 の 削減	一般廃棄物 (kg)	762.3	754.7	747.1	739.5	
	産業廃棄物 (t)	106.2	105.2	104.1	103.0	
	産業廃棄物リサイクル率	77.3%	90%以上	90%以上	90%以上	
水使用量の削減 (m ³)			192	190	188	186
省エネ住宅設備提案件数 (件) /年			見積1件/月	見積1件以上/月	見積1件以上/月	見積1件以上/月

5. 環境経営目標の実績

2024年度（2024年3月～2025年2月）目標と実績

・電力のCO2排出量については、2023.1.24発表の電気事業者別調整後排出係数をもとに算出した

事務所…CO2調整後排出係数 **0.424** [kg-CO2/kWh] リエスパワーネクスト

現場…CO2調整後排出係数 **0.569** [kg-CO2/kWh] 四国電力

項目		目標	実績	達成率	評価	
CO2排出量の削減	CO2排出量 (kg-CO2)	全社	52,935	40,186	131.7%	○
		事務所	11,347	8,507	133.4%	○
		現場	41,048	31,787	129.1%	○
	電力使用量 (kWh)	事務所	10,055	9,553	105.3%	○
		現場	13,052	12,690	102.9%	○
	ガソリン (L)	事務所	2,505	2,064	121.4%	○
		現場	7,048	6,419	109.8%	○
	軽油 (L)	現場	4,011	3,605	111.3%	○
	灯油 (L)	全社	821	716	114.7%	○
	LPガス(kg)	事務所	17.80	12.63	140.9%	○
廃棄物の削減	一般廃棄物 (kg)	747.1	747.0	100.0%	○	
	産業廃棄物 (t)	104.1	222.0	46.9%	(把握のみ)	
	産業廃棄物リサイクル率(%)	90%以上	94.3%	達成	○	
水使用量の削減 (m ³)		188	176	106.8%	○	
省エネ住宅設備提案件数 (件) /年		見積1件以上/月	見積1件以上/月	達成	○	

評価コメント：今年度も昨年同様に全ての項目において目標を達成できました。

産業廃棄物につきましてはリサイクル率の目標は達成しましたが、解体を含む工事が発生した結果コンクリート殻が151.57t排出されたため総量としては222.0tと目標値を超えてしまう結果となりました。

電力使用量につきましては、事務所の年間使用量は9,553kWhですが、そのうち43.9%にあたる4,193kWhを自社の太陽光発電で賄うことができたためCO2の排出量は大幅に削減となりました。

6. 主要な環境経営計画の内容

(2024年3月～2025年2月)

	次年度の取組内容		担当者	SDGsとの関連
①CO ₂ の削減	電力	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房時28℃、暖房時20℃ ・ウォームビズ・クールビズを心掛ける。 ・電気機器買い替え時には、省電力製品に切り替える ・電力消費量と太陽光発電量の Web 管理をする 	総務部 責任者	  
	ガス 灯油	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場はガス給湯を止めておく ・ファンヒーター使用時の温度管理(20℃) 	総務部 責任者	  
	ガソリン 軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ安全ドライブの実施 ・定期的な車の保守点検実施 (タイヤ空気圧点検、燃費チェックなど) ・車輛買い替え時には低燃費車に切り替える ・過積載の禁止(積みっぱなしを防ぐ) 	営業部 責任者	  
②廃棄物の削減	一般	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所でのごみ分別の徹底 ・梱包材・封筒・裏紙の再利用 ・ミスコピーを減少させる、プレビュー確認 ・申請書類の減量化(郵送→電子申請へ) ・脱プラスチック(紙容器購入の推奨) 	総務部 責任者	  
	産廃	<ul style="list-style-type: none"> ・現場でのリサイクルの推進 ・一般廃棄物の混入禁止 ・無駄を省いた計画的発注 ・廃棄物の適正処理や最終処分先の確認 	工務部 責任者	  
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識の維持継続 ・漏水の点検や確認 		総務部 責任者	 
④省エネ建築の 提案	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ住宅市場に注力する ・環境負荷の低減につながる製品の提案 		営業部 責任者	  
⑤その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型重機の使用(低排ガス・低騒音など) ・現場周辺の清掃の徹底 ・太陽光発電システム設置の提案 ・社員への環境教育や周知に努める 			  

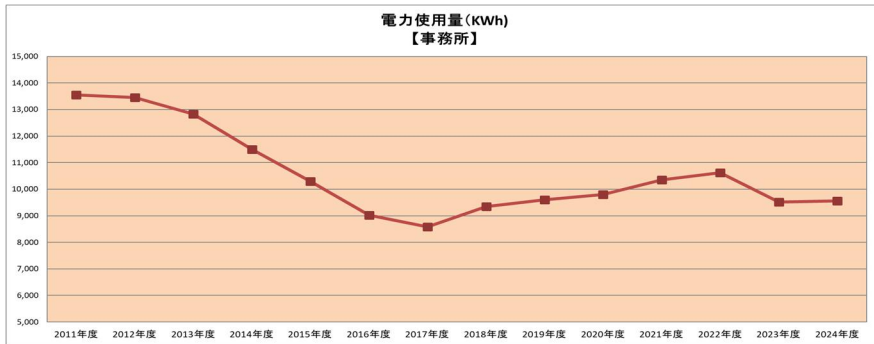
7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○取り組むことができた △取り組めたが更に必要 ×取り組めなかった —該当しない

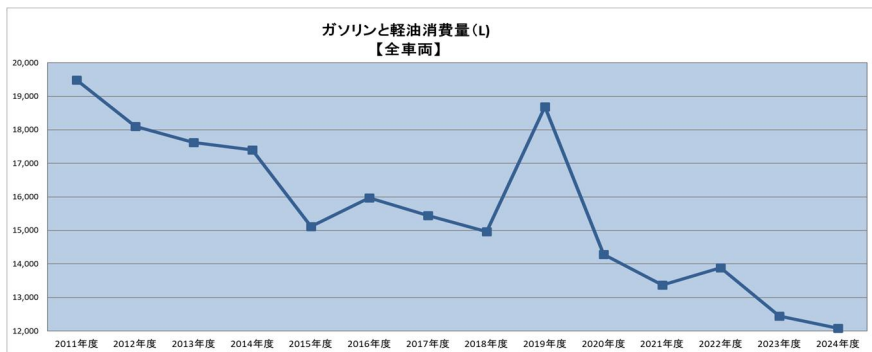
環境経営計画の内容		取組状況					SDGsとの関連	担当者の評価		
		3-5 (月)	6-8 (月)	9-11 (月)	12-2 (月)	年間				
①CO ₂ の削減	電力	<ul style="list-style-type: none"> 冷房時28℃、暖房時20℃ ウォームビズ・クールビズを心掛ける。 電気機器買い替え時には省電力製品に切り替える 電力消費量と太陽光発電量の Web 管理をする 	○	○	○	○	○	  	温度管理はしっかりでき服装調整も個々で工夫している。エアコンが古くなり効率が悪いので、買い替えを考えていかねばならない。	総務部責任者
	ガス灯油	<ul style="list-style-type: none"> 夏場はガス給湯を止めておく ファンヒーター使用時の温度管理(20℃) 	—	○	○	—	○	  	ガスは例年に引き続き夏場はオフを徹底した。ファンヒーターを使用した現場が発生したため灯油の消費量が増加してしまった。	総務部責任者
	ガソリン軽油	<ul style="list-style-type: none"> エコ安全ドライブの実施 定期的な車の保守点検実施 (タイヤ空気圧点検、燃費チェックなど) 車両買い替え時には低燃費車に切り替える 過積載の禁止(積みっぱなしを防ぐ) 	○	○	○	○	○	  	今年度も車両の買い替えはなかった。今の車両でエコ運転に注力することで燃料削減に努めた。またこまめにトラック荷台の片付け処分をし燃費が上がった。	営業部責任者
②廃棄物の削減	一般	<ul style="list-style-type: none"> 事務所でのごみ分別の徹底 梱包材・封筒・裏紙の再利用 ミスコピーを減少させる、プレビュー確認 申請書類の減量化(郵送→電子申請へ) 脱プラスチック(紙容器購入の推奨) 	○	○	○	○	○	  	ゴミの分別や裏紙再利用は習慣化できた。公共工事があったため提出用紙の削減が厳しかった。脱プラは頭打ち状態になっているため勉強が必要である。	総務部責任者
	産廃	<ul style="list-style-type: none"> 現場でのリサイクルの推進 一般廃棄物の混入禁止 無駄を省いた計画的発注 廃棄物の適正処理や最終処分先の確認 	○	△	○	○	○	  	コンテナに混入禁止を掲示し分別徹底した。収集運搬時にも追跡や写真撮影をすることで排出者と収集者が互いに高い意識を持つことができた。	工務部責任者
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水意識の維持継続 漏水の点検や確認 	○	○	○	○	○	 	今年も SDGz を意識しながら節水できた。設備が古くなっている点検はもっとしっかりしたい。	総務部責任者	
④省エネ建築の提案	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ住宅市場に注力する 環境負荷の低減につながる製品の提案 	○	○	○	○	○	 	今年度も国が実施する省エネ住宅への補助金事業が充実していたためお客様への提案がスムーズに進んだ。	営業部責任者	
⑤その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型重機の使用(低排ガス・低騒音など) 現場周辺の清掃の徹底 太陽光発電システム設置の提案 社員への環境教育や周知に努める 	○	△	○	○	○	   	当社の太陽光システムも2年が経過したのでお客様に提案するための知識を勉強しなくてはいけないと感じる。		

8. 活動の記録

◆エコアクション取組開始からの実績推移グラフ（社内に掲示中）



	2011年度 H23.3~H24.2	2012年度 H24.3~H25.2	2013年度 H25.3~H26.2	2014年度 H26.3~H27.2	2015年度 H27.3~H28.2	2016年度 H28.3~H29.2	2017年度 H29.3~H30.2	2018年度 H30.3~H31.2	2019年度 H31.3~R2.2	2020年度 R2.3~R3.2	2021年度 R3.3~R4.2	2022年度 R4.3~R5.2	2023年度 R5.3~R6.2	2024年度 R6.3~R.2
電力使用量 (kWh) 【事務所】	13,549	13,456	12,824	11,503	10,295	9,017	8,586	9,345	9,601	9,807	10,348	10,625	9,520	9,553

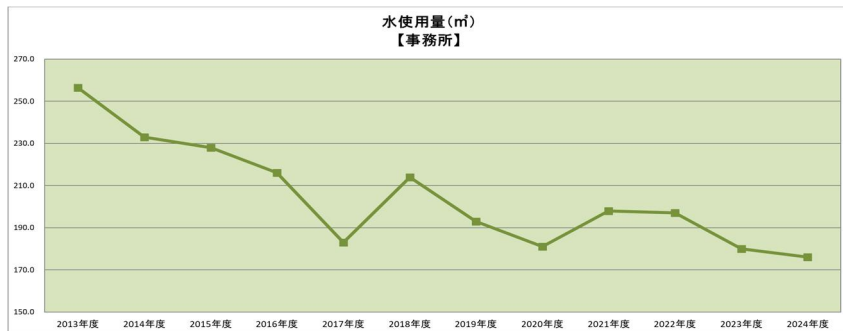


※灯油含まない

	2011年度 H23.3~H24.2	2012年度 H24.3~H25.2	2013年度 H25.3~H26.2	2014年度 H26.3~H27.2	2015年度 H27.3~H28.2	2016年度 H28.3~H29.2	2017年度 H29.3~H30.2	2018年度 H30.3~H31.2	2019年度 H31.3~R2.2	2020年度 R2.3~R3.2	2021年度 R3.3~R4.2	2022年度 R4.3~R5.2	2023年度 R5.3~R6.2	2024年度 R6.3~R.2
ガソリンと軽油消費量 (L) 【全車両】	19,486	18,104	17,624	17,401	15,115	15,968	15,447	14,960	18,696	14,285	13,368	13,883	12,443	12,088



	2011年度 H23.3~H24.2	2012年度 H24.3~H25.2	2013年度 H25.3~H26.2	2014年度 H26.3~H27.2	2015年度 H27.3~H28.2	2016年度 H28.3~H29.2	2017年度 H29.3~H30.2	2018年度 H30.3~H31.2	2019年度 H31.3~R2.2	2020年度 R2.3~R3.2	2021年度 R3.3~R4.2	2022年度 R4.3~R5.2	2023年度 R5.3~R6.2	2024年度 R6.3~R.2
LPガス使用量 (kg) 【事務所】	38.67	37.98	34.10	33.22	28.36	27.32	39.33	22.98	27.12	20.91	16.15	16.35	12.21	12.63



	2011年度 H23.3~H24.2	2012年度 H24.3~H25.2	2013年度 H25.3~H26.2	2014年度 H26.3~H27.2	2015年度 H27.3~H28.2	2016年度 H28.3~H29.2	2017年度 H29.3~H30.2	2018年度 H30.3~H31.2	2019年度 H31.3~R2.2	2020年度 R2.3~R3.2	2021年度 R3.3~R4.2	2022年度 R4.3~R5.2	2023年度 R5.3~R6.2	2024年度 R6.3~R.2
水使用量 (m ³) 【事務所】	270.0	238.5	256.5	233.0	228.0	216.0	183.0	214.0	193.0	181.0	198.0	197.0	180.0	176.0

◆今年度の取り組みの様子

(1) 住宅の省エネ化提案への取組

国が実施する住宅の省エネ化を促進するための補助金事業「住宅省エネキャンペーン 2024」を利用してリフォームを提案した事例です。

I邸 高断熱窓への改修工事 (2024年12月施工)

「先進的窓リノベ2024事業」の活用例

既存の窓枠を活かして取り付ける「カバー工法」のため、工期が短く外壁を壊す必要がありません。外気の影響を受けにくくなるため室内の温度ムラがなくなり、冬は暖かく夏は涼しい室内環境が実現し、冷暖房の効率が上がります。



Y邸 高効率給湯器の設置 (2024年8月施工)

「給湯省エネ2024事業」の活用例

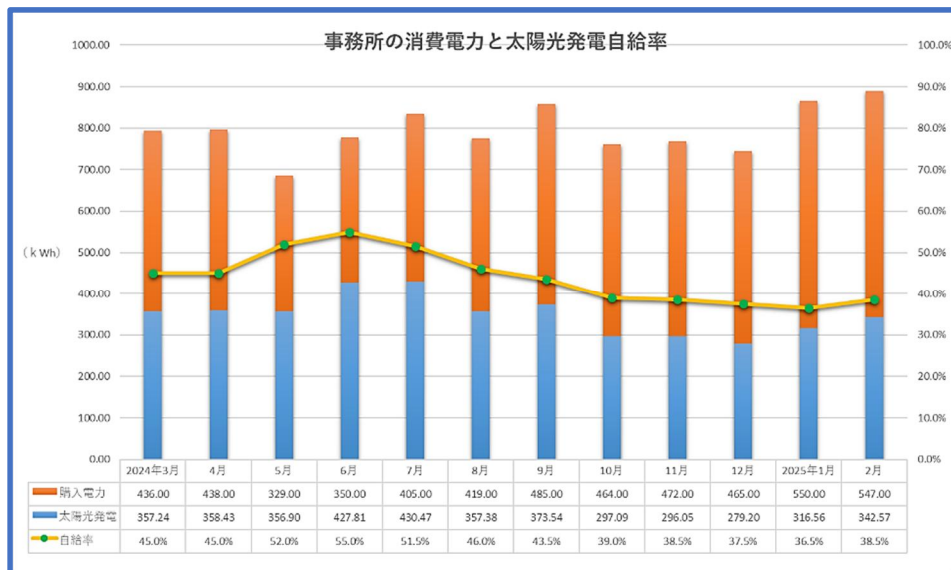
高効率なヒートポンプ技術を採用しており、一般的な電気温水器に比べて、エネルギー消費量を約1/3程度に抑えることが可能です。

CO₂排出量を削減でき、家庭からの温室効果ガス排出を抑えることに貢献します。



(2) 太陽光発電への取組

Fusion Solar（遠隔管理システム）にて web 上で発電の状況を把握しています。
 2024年3月～2025年2月の年間の事務所での
 消費電力 9,553.2kWh の 43.9%にあたる 4193.3kWh を自社の太陽光発電で賄っています。



(3) 熱中症対応の訓練を実施

2024.7.8 現場付近駐車場での熱中症発生を想定し、手順書に基づき対応訓練を実施しました。



(4) 地域への貢献

2024.6.15 香東川の地域清掃に、3名が参加しました。



9. 次年度の取組

次年度の環境経営計画(2025年3月～2026年2月)

	次年度の取組内容		担当者	SDGsとの関連
①CO ₂ の削減	電力	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房時28℃、暖房時20℃ ・ウォームビズ・クールビズを心掛ける。 ・電気機器買い替え時には、省電力製品に切り替える ・電力消費量と太陽光発電量の Web 管理をする 	総務部 責任者	  
	ガス 灯油	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場はガス給湯を止めておく ・ファンヒーター使用時の温度管理(20℃) 	総務部 責任者	  
	ガソリン 軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ安全ドライブの実施 ・定期的な車の保守点検実施 (タイヤ空気圧点検、燃費チェックなど) ・車輛買い替え時には低燃費車に切り替える ・過積載の禁止(積みっぱなしを防ぐ) 	営業部 責任者	  
②廃棄物の削減	一般	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所でのごみ分別の徹底 ・梱包材・封筒・裏紙の再利用 ・ミスコピーを減少させる、プレビュー確認 ・申請書類の減量化(郵送→電子申請へ) ・脱プラスチック(紙容器購入の推奨) 	総務部 責任者	  
	産廃	<ul style="list-style-type: none"> ・現場でのリサイクルの推進 ・一般廃棄物の混入禁止 ・無駄を省いた計画的発注 ・廃棄物の適正処理や最終処分先の確認 	工務部 責任者	  
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識の維持継続 ・漏水の点検や確認 		総務部 責任者	 
④省エネ建築の 提案	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ住宅市場に注力する ・環境負荷の低減につながる製品の提案 		営業部 責任者	  
⑤その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型重機の使用(低排ガス・低騒音など) ・現場周辺の清掃の徹底 ・太陽光発電システム設置の提案 ・社員への環境教育や周知に努める 			  

10. 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	マニフェストの管理・委託契約等	適法
建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化等	適法
騒音規制法	指定区域の確認、事前届出、規制値遵守等	適法
振動規制法	指定区域の確認、事前届出、規制値遵守等	適法
資源有効利用促進法	製造業者等への引渡し、リサイクル費用支払い	適法
道路交通法	所轄警察署への届出等	適法
道路運送車両法	日常定期点検、定期点検整備等	適法
道路法	道路管理者への届出等	適法
フロン排出抑制法	業務用エアコンの適正管理 簡易点検の測定、記録、保存	適法
浄化槽法	浄化槽の法定検査、保守点検・清掃	適法
大気汚染防止法	解体等工事の石綿含有事前調査の実施・届出等	適法
高松市環境基本条例	第5条遵守 事業活動により排出する廃棄物の適正処理	適法
香川県環境基本条例	第5条遵守 公害防止、環境への負荷の低減のために必要な措置を講じる	適法

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また過去3年間にわたって違反や訴訟、環境関係当局より違反等の指摘もありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

見直し実施日：2025年5月8日

代表取締役 新名 孝司

環境経営計画の内容	代表者の評価	来期への見直し	
①CO ₂ の削減	電力	今期も事務所現場ともに目標達成いたしました。昨年と比較すると使用量は微増となり8年ほどは横ばいの状況が続いています。太陽光発電はスタートから2年が経過し、事務所の年間電力使用量の43.9%を太陽光発電で賄うことができたため、CO ₂ の排出量を絞ることが出来ました。	来期も引き続き節電と太陽光発電を並行して取り組んでいきます。節電に関しては、当社においても働き方改革の意味で残業を無くしたり休日を増やすなどを進めていっており、自動的に電気を使う時間を減らすことになると考えられます。太陽光発電に関しては、経営コストの観点からも安定した自家発電の供給を続けていきたいと考えます。
	ガス 灯油	ガスは昨年とほぼ同じですが、灯油はフィルターを使用する現場事務所が発生したため昨年からは大幅増となりましたが、目標値としては達成できました。	ガスはエコアクションの開始の頃の3分の1にまで減っています。灯油は現場の特性によって使用するしないの変動があるので背景を把握しながら管理していきます。
	ガソリン 軽油	今期もガソリン軽油ともに目標達成できました。相変わらずガソリン価格は高値が続いていますので、個々がエコ運転を習慣として実行していると思われます。今期も車両の買い替えはありませんでした。	今期もガソリン価格は高値が続くと予想され、引き続き地道な努力でエコ運転を心掛け、点検や片付け等の車両管理をこまめに行うことで少しでも燃費を上げていくしかありません。
②廃棄物の削減	一般	期中に公共工事の竣工があり、提出書類作成のため用紙消費は避けられませんでした。日々の削減努力と分別の成果で目標達成しました。	年々申請の電子化が進んでいると感じるので勉強して対応し、これまで通りのゴミ分別や再利用は徹底し両面で努力をしていきます。
	産廃	今期はコンクリート殻が解体現場から多く排出されたため、量としては大幅に増えましたがリサイクルは徹底し目標は達成しました。石綿などは公共工事の現場から処分場まで追跡や写真撮影を行うことで適正処分の確認も行えました。	石綿の事前調査など年々条件が変わり厳しくなる法令もあり、対応漏れのないよう常にアンテナを張り情報収集する必要があると感じます。マニフェストの記載内容もよく確認しリサイクルの定着と適正処分の確認に注力していきます。
③水使用量の削減	今期も目標を達成し、最少記録を更新いたしました。特に突出した対策を講じている訳ではないので日々の節水努力の賜物と考えます。	これまで通り節水意識を維持しながら、季節によっては感染対策や熱中症対策も両立させていきたいです。	
④省エネ建築の提案 ⑤その他の取組	建築コストの高騰で、なかなか思うように省エネ設備へ費用をかけられない中、国の補助金事業を活用した提案が実った例が何件もありました。窓の改修など費用対効果の高い省エネ設備に絞ることで無理なく対策ができる等の提案をいたしました。	今後も国に限らず県や市町村など様々な事業が実施されるようです。利用可能な補助金制度をいち早く把握し、お客様に適切に提案することで負担の少ない省エネ化を勧めていきたいと考えます。	

◆指示の結果（変更の必要性の有無）

- [環境経営方針] 変更の必要性 有 無
 [環境経営目標・計画] 変更の必要性 有 無
 [実施体制] 変更の必要性 有 無

代表者所見：今年度も数値での目標は全項目達成できましたが、環境経営計画の取組結果にはまだ完全でない項目もあったため、内容は変更せずに次年度も継続して取り組んでいきます。